

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公表番号】特表 2019-506225 (P2019-506225A)

【公表日】平成 31 年 3 月 7 日 (2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-009

【出願番号】特願 2018-541626 (P2018-541626)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/12 (2006.01)

A 6 1 B 1/005 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

G 0 2 B 23/26 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 1/12 5 3 2

A 6 1 B 1/005 5 1 1

A 6 1 B 1/00 7 1 5

G 0 2 B 23/24 A

G 0 2 B 23/24 B

G 0 2 B 23/26 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 15 日 (2019.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アウターケーシングチューブ (1) を有するビデオ内視鏡 (E) であって、
 インナーケーシングチューブ (6) 用のファイバースコープ (4) が前記アウターケーシングチューブ (1) に収容されており、
 画像形成ユニット用のインナーケーシングチューブ (6) が前記ファイバースコープ (4) に収容されており、
 発熱膜 (7) が、前記ファイバースコープ (4) と前記インナーケーシングチューブ (6) との間に設けられている、ビデオ内視鏡 (E) 。

【請求項 2】

前記インナーケーシングチューブ (6) がチューブ部分を有し、
 前記インナーケーシングチューブ (6) の前記チューブ部分が、周方向において前記発熱膜 (7) によって包囲されていることを特徴とする、請求項 1 に記載のビデオ内視鏡 (E) 。

【請求項 3】

前記発熱膜 (7) がスリーブ型又は発熱膜スリーブとして設計されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のビデオ内視鏡 (E) 。

【請求項 4】

前記発熱膜 (7) は、前記ファイバースコープ (4) 及び前記インナーケーシングチューブ (6) と直に又は直接的に接触することを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡 (E) 。

【請求項 5】

前記発熱膜（ 7 ）はプラスチックから製造されることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡（ E ）。

【請求項 6】

光ファイバー束（ 2 ）が、前記インナーケーシングチューブ（ 6 ）用の前記ファイバーチューブ（ 4 ）に隣接して前記アウターケーシングチューブ（ 1 ）内に収容されることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡（ E ）。

【請求項 7】

前記発熱膜（ 7 ）の温度を検出する少なくとも 1 つの温度センサ（ 8 ）が設けられることを特徴とする、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡（ E ）。

【請求項 8】

前記発熱膜（ 7 ）の前記温度を制御するための温度制御装置（ 9 ）が設けられることを特徴とする、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡（ E ）。

【請求項 9】

前記発熱膜（ 7 ）が電気抵抗の正温度係数を有することを特徴とする、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のビデオ内視鏡（ E ）。